

## 合併20周年記念「コウノトリ」を鴻巣市の鳥に制定



### 1. 制定の背景・目的

令和7年10月に合併20周年を迎えることを契機として、本市の地名の由来の一つともいわれ、市民になじみが深く、幸せをもたらす存在として幅広く認知されている「コウノトリ」を、本市のまちづくりのシンボルとすることで、SDGsの更なる推進や市民のシビックプライドの醸成を図り、もって、経済・社会・環境の3側面が調和した持続可能なまちづくりを推進するため、市の鳥として指定するもの

### 2. 制定の理由

#### (1) 鴻巣の地名の由来の一つ「こうのとり伝説」

市内にある鴻神社では「コウノトリ」が産んだ卵を狙った大蛇を退治したことで、平和な日々が続いたとされており、この「こうのとり伝説」が伝わり、一説では、市名の由来とも言われていることから、鴻巣市と「コウノトリ」は古くから縁があるといえる。

#### (2) 昔から馴染みのあった「コウノトリ」

市内では、鴻巣駅(モニュメント)やエルミパーク(花壇)、商店会(旗)などで「コウノトリ」にちなんだモノを見ることができ、市民の皆さんに馴染み深いものとなっている。



(3)コウノトリの飼育及び天空の里オープン

令和3年10月に埼玉県こども動物自然公園からコウノトリ2羽(空・花)を譲り受け、飼育を開始するとともに、令和4年1月に、コウノトリを飼育するための施設として、コウノトリ野生復帰センター「天空の里」を開設した。

(4)SDGs 未来都市認定及び各種 SDGs 啓発活動

令和5年8月に「人にもいきものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」を 2030 年の将来ビジョンとして掲げる「鴻巣市 SDGs 未来都市計画」を策定し、以降、SDGs 未来会議や SDGs フェスティバル、今年の5月に地方創生 SDGs フェスに出展するなど、各種啓発活動を実施することで、徐々にコウノトリをシンボルとした SDGs が浸透している。

3. 制定までの経緯

下表のとおり、各懇話会等で市民や有識者の意見を聴取

日程	懇話会・審議会
令和 7 年 7 月 8 日	シティプロモーション推進懇話会
令和 7 年 7 月 9 日	まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会
令和 7 年 7 月 24 日	コウノトリの里づくり連絡会
令和 7 年 8 月 1 日	環境審議会

4. 今後のスケジュール

(議会で承認された場合)

- ・広報10月号及び市 HP 等で市民に周知
- ・鴻巣市の鳥の制定に伴うセレモニーの開催